

第93期 報告書

平成24年4月1日～平成25年3月31日



未来へ世界へ、……ing

CONTENTS

株主・投資家の皆様へ	P1	連結財務ハイライト・連結財務諸表	P11
セグメント別事業の概況	P3	単体財務諸表	P13
トピックス	P9	会社概要／株式の状況	P14
特集	P10		



代表取締役社長

伊藤 亨

To Our Stakeholders

株主・投資家の皆様へ

株主・投資家の皆様には平素は格別のご支援を賜り深く感謝申し上げます。

当社グループの第93期の報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における事業環境は、国内経済は復興需要の下支えにより緩やかな回復基調にありましたが、海外では長期化する欧州債務問題や新興国の経済成長に陰りが出て減速が続きました。また、主要国が新指導体制へ移行し、株価上昇や円高修正が進行しましたが、実体経済の再生は不透明な状況で推移しました。

アキレスブランドの育成、グローバル展開の推進、徹底したコストダウンに取り組む

このような事業環境の下、当社グループは企業価値の増大を目指して、ブランド商品の育成と拡販、独自技術を活かした新商品開発、新規顧客の開拓、グローバル展開の推進および徹底したコストダウン等に取り組んでまいりました。

その結果、当期連結業績は売上高81,598百万円(前期比0.4%増)、営業利益1,854百万円(前期比20.7%増)、経常利益2,655百万円(前期比49.4%増)、当期純利益1,423百万円(前期は356百万円の当期純損失)となりました。

成長分野と復興・防災関連分野への積極的な事業展開を行う

今後のわが国の経済見通しは、継続する震災復興とともに株価上昇や円安進行が予測されますが、原材料価格・エネルギーコストの高騰や輸入製品の値上がりに加え欧州金融不安の再燃も懸念されるところであります。

こうした厳しい外部環境が予測されるなか、ブランド力のある商品作りに注力するとともに省エネルギー関連製品、環境対応製品、健康関連製品など成長分野と復興・防災関連分野へ積極的な事業展開を行ってまいります。

持続的な成長と企業価値の増大を目指して

当社グループは持続的な成長と企業価値の増大を目指して、グローバルな視点で見た優位性を活かすとともに独自技術を発揮した製品開発に注力し社会から求められる企業集団として最善の努力をしてみまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月

持続的な成長と企業価値の増大を目指し、 グループ全社員が

Passion 情熱と
Logic 論理をもって
Universal 国際的に
Strong たくましい会社を目指し
Value より大きな企業価値を創造する



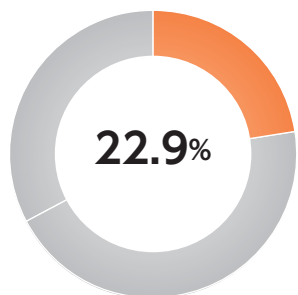
セグメント別事業の概況

シューズ事業

ジュニアスポーツシューズのトップブランド「瞬足」は、主力であるランニングカテゴリーに加え、新たに女兒向け「瞬足ダンス」や、アクションスポーツに対応する男児向けの「瞬足エクストリーマーズ」を投入し、前年売上を上回りました。また、高性能スーパークッション「ソルボ」の搭載により、高い評価を得ている「アキレス・ソルボ」は、女性向けカジュアルが堅調に推移したことに加え、紳士向けライン

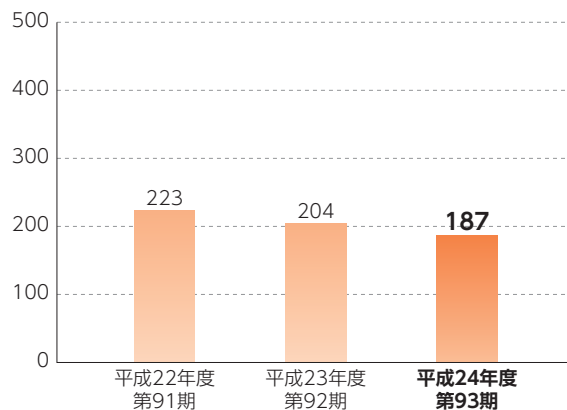
ナップを一新し、靴専門店、百貨店を中心に支持を得て、前年売上を上回りました。しかし、シューズ事業全体では、「スケッチャーズ」の契約終了があり、前年売上を下回りました。

セグメント別売上高



■ 売上高 **187**億円
(前年同期比 **8.4%**減)

シューズ事業売上高推移 単位：億円



プロダクト インフォメーション



アキレス
瞬足
SYUNSOKU

瞬足

SYUNSOKU
dance

2013年3月末に販売累計4,000万足を突破した「瞬足」。コーナリングに強い「左右非対称ソール」の進化系「エスチーター」のほか、「ダンス用ソール」を搭載した「瞬足ダンス」や男児のアクション系スポーツを応援する「瞬足エクストリーマーズ」など新カテゴリーも充実し、子どもたちのあらゆるライフスタイルに提案できるNo.1ジュニアスポーツシューズです。



ACHILLES SORBO

アキレス・ソルボ

高機能スーパークッション「SORBO」搭載の「ジャパニーズコンフォートシューズ」として好調に伸長する「アキレス・ソルボ」。レディースからメンズまで、タウンウォーキングからカジュアル、エレガンスまで豊富な品揃えでどこまでも歩きやすく、いつまでも疲れにくい「履き心地のよさ」をご提案します。



プラスチック事業

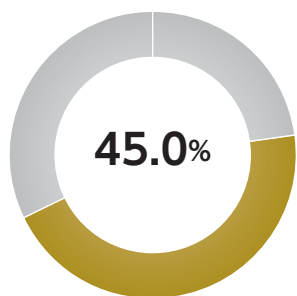
車輻内装用資材は、中国での車輻減産の影響はありましたが、欧米メーカー向けの受注回復およびラミネート分野での新規受注により、前年売上を上回りました。

フィルムは、北米事業で文具用が堅調に推移し、医療用、工業用フィルムの拡販もあり、前年売上を上回りました。また、農業資材分野は前半の風害対応もあり、前年売上を上回りました。

建装資材は、住宅着工戸数の緩やかな回復が継続し、新築およびリフォーム需要により、前年売上を上回りました。

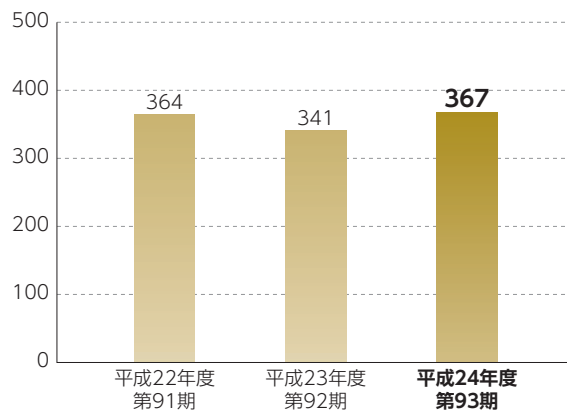
引布商品は、東日本大震災の影響により、官公庁向けのエアータントおよびボートが好調で、前年売上を大きく上回りました。

セグメント別売上高



■ 売上高 **367**億円
(前年同期比 **7.4%**増)

プラスチック事業売上高推移 単位：億円



プロダクト インフォメーション



ハウス用防霧滴農ビ 「ノンキリーあすか」

透明性と強度に優れ、べたつきを抑え作業性を向上させたハウス用ビニールフィルム「ノンキリーあすか」。良質な作物の収穫をサポートします。

支援資機材用エアータント 「ASV-45」

総務省全国配備品・消防緊急援助隊標準仕様のエアータント「ASV-45」。東日本大震災の救助活動の経験から開発された、拡張性に優れた救助隊員用の野営テントです。



海外向け壁紙コレクション 「MELANGERE」

海外向けの壁紙コレクション「MELANGERE」。意匠性の高い、施工性に優れた世界標準の壁紙です。



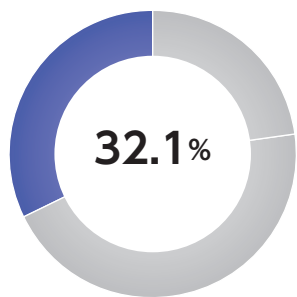
産業資材事業

ウレタンは、インテリア製品の洗えるシリーズ「エアロ
ンムマック」などが市場で評価され前年売上を上回りました。

断熱資材のボード製品は、屋上分野向けを中心に拡販
し、パネル製品も、仮設ハウス向けが好調に推移しました
が、システム製品は戸建て分野で苦戦し、前年売上を下
回りました。

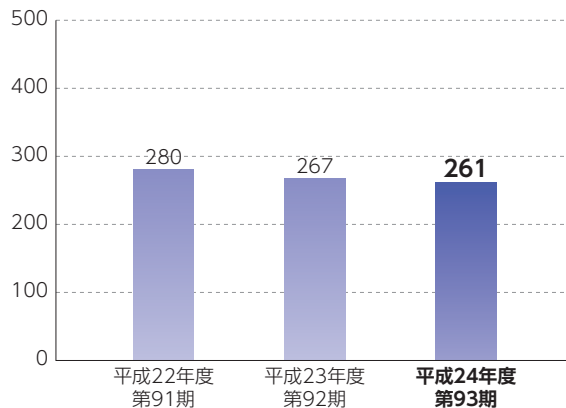
静電気対策品は、電子部品業界の再編と国際競争拡
大が急速に進む中、国内ユーザー向けの苦戦により、前
年売上を下回りました。なお、海外事業も低迷し、中国子
会社の固定資産について減損損失を計上しました。

セグメント別売上高



■ 売上高 **261** 億円
(前年同期比 **2.0%** 減)

産業資材事業売上高推移 単位：億円



プロダクト インフォメーション



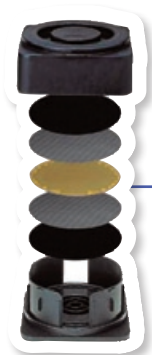
瞬反発マットレス 「Riacc ベッドマットレス」

「瞬反発フォーム(Riacc)」を中材に使用した「Riacc ベッドマットレス」。身体の動きに合わせて瞬時に反応し、自然な寝姿勢を保ち、寝返りも起き上がりもスムーズです。



断熱ボード 「キューワンボード」

ノンフロン高性能硬質ウレタンフォームに、遮熱性能の優れたアルミ箔面材を組み合わせた「キューワンボード」。経時断熱性能にも優れ、木造住宅の外張り工法で省エネルギー化に貢献しています。



「ウエハー搬送システム」

容器、クッション材、スペーサーを組み合わせることで、ウエハーを安全かつ効率的に搬送するシステムです。

「第1回ジュニアRunフェスタ『瞬足』チャレンジ2013 in 国立競技場」開催

平成25年2月3日、国立競技場にて「第1回ジュニアRunフェスタ『瞬足』チャレンジ2013 in 国立競技場」が開催されました。

当イベントは、平成32年東京オリンピック・パラリンピック招致への気運を高め、将来のオリンピック選手への夢を子どもたちに与えようと企画されました。約300人の子どもたちが集まり、元気に走る姿が印象に残る楽しいイベントとなりました。

開会式では、新宿区体育協会協力の下、聖火点火式も行われ、続いて各種目がスタート。「瞬足」ならではの各学年別コーナー走や、親子リレーなどが行われ、和やかな笑顔とともに子どもたちの真剣な姿に大きな歓声が上がりました。

また、会場内には「瞬足ブース」が設けられ、「瞬足シューズ」展示のほか、伊藤忠商事様協力の協力もありサプライセッサーであるCCP様によるラジオコントロールカー「瞬足バギー」タイムトライアルイベントなども行われ、競技の合間に親子で楽しんでいました。

- ◇主催：新宿区体育協会、新宿区陸上競技協会、ジュニアRunフェスタ実行委員会
- ◇後援：(株)ベースボール・マガジン社「陸上競技マガジン」
- ◇協賛：アキレス(株)
- ◇協力：ミウラススポーツクラブ



聖火の前に全員で記念写真



学年別コーナー走



保護者と一緒で走るミニミニ走

「採用したい建材・設備メーカーランキング2012」にランクイン

「採用したい建材・設備メーカーランキング」は、(株)日経BP社が、読者である一級建築士や住宅建設の実務者を中心にアンケート調査を行いランキングを発表しています。全52部門の製品分野の中で、当社は、「ビル用外断熱工法」で1位、「戸建住宅用外張り工法」2位、「断熱材」3位という結果でした。該当商品である「SDパネル」「SUパネル」は、セメント板付きのステンパネルで、タイル仕上げができるなど品質面が評価された他、日頃の営業活動と永年の実績、広報活動等が一定の評価をいただいたものと理解しております。



表彰を受ける伊藤社長

「Achilles THE NEXT みなさまと、ともに。」開催

アキレス全社の製品ラインナップを紹介する総合展「Achilles THE NEXT」を、3月7日ホテルニューオータニにて開催いたしました。現在のお取引先様に、今扱われている製品以外のまだ知らないアキレスをもっと知っていただくために、当社の製品・技術・サービスを8つの分野に分けて紹介いたしました。イベントのネーミング「THE NEXT」は、アキレスの未来のビジョンを示すキーワードであるとともに、そのNEXTを実現するための「T=Technology:技術」「H=Human:人」「E=Environment:環境」を表し、「当社の技術を、人と地球環境に活かしたい」という強い思いが込められています。



展示コーナー

「瞬足」10周年記念記者発表会

平成25年5月、ジュニアスポーツシューズのトップブランドに成長した「瞬足」は発売10周年を迎えました。平成21年以降は年間約600万足の販売実績をあげ、平成25年3月には販売累計4,000万足を達成しました。ジュニアスポーツシューズ市場の約60%（弊社調べ）のシェアを確保しています。

10周年の節目に当たり、テレビ、新聞、雑誌、WEB媒体など52媒体89名、その他ライセンシー各社関係者も含め約130名をお迎えし、平成25年5月16日、時事通信ホールにて『「瞬足」10周年記念記者発表会』を開催いたしました。

伊藤社長よりアキレスの子ども靴設計思想である「足育(そくいく)」宣言があり、続いて永島シューズ事業部長より新しい瞬足のテレビコマーシャルのご紹介と今後の10周年プロジェクトを発表。その後、津端シューズ事業企画副本部長、ゲストの順天堂大学スポーツ健康科学部の柳谷登志雄准教授、さらにタレントの照英氏をお迎えしての3名による「子どもの足を考える」をテーマにしたトークセッションを実施いたしました。

弊社では、従来から多くの子どもたちの靴を販売することによる社会的責務を強く認識し、発育する子どもたちの「足を守る」数々の施策を講じています。足に合う靴を正しく履いて、足の機能を育てるという理念を込めた新しい言葉「足育」を宣言し、子どもたちの足の健康と成長を多角的にサポートし、「足育」の普及・啓蒙をめざし、子どもたちの足を育て、楽しく歩く・走ることを強く推進してまいります。



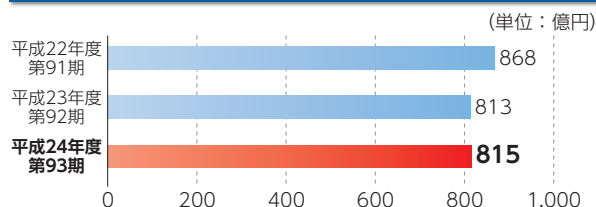
トークセッション(左から津端副本部長、柳谷准教授、照英氏)



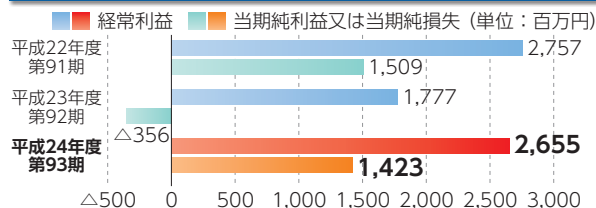
照英氏に記念品「大人の瞬足」を贈呈する久保取締役

連結財務ハイライト

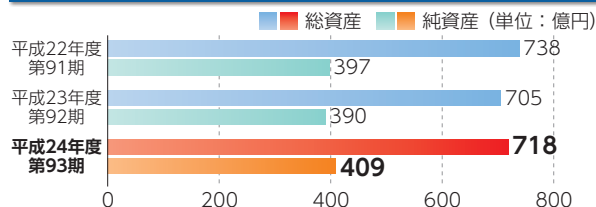
売上高



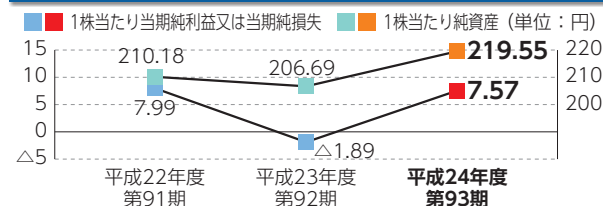
経常利益・当期純利益又は当期純損失



総資産・純資産



1株当たり当期純利益又は当期純損失・1株当たり純資産



連結財務諸表

● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 平成25年3月31日現在	前連結会計年度 平成24年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	45,586	44,496
固定資産	26,268	26,082
有形固定資産	17,844	18,471
無形固定資産	523	539
投資その他の資産	7,900	7,071
資産合計	71,854	70,579
【負債の部】		
流動負債	21,900	22,222
固定負債	8,981	9,303
負債合計	30,881	31,525
【純資産の部】		
株主資本	40,359	39,758
その他の包括利益累計額	612	△704
純資産合計	40,972	39,053
負債・純資産合計	71,854	70,579

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

● 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	
	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	前連結会計年度 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
売上高	81,598	81,301
売上原価	64,962	64,592
売上総利益	16,636	16,709
販売費及び一般管理費	14,781	15,171
営業利益	1,854	1,537
営業外収益	939	402
営業外費用	139	161
経常利益	2,655	1,777
特別利益	165	40
特別損失	326	1,075
税金等調整前当期純利益	2,493	741
法人税、住民税及び事業税	468	317
法人税等調整額	601	781
少数株主損益調整前当期純利益 又は少数株主損益調整前当期純損失(△)	1,423	△356
当期純利益又は当期純損失(△)	1,423	△356

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	
	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	前連結会計年度 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,558	3,104
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,748	△4,009
財務活動によるキャッシュ・フロー	△815	△587
現金及び現金同等物に係る換算差額	88	△28
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,082	△1,520
現金及び現金同等物の期首残高	5,914	7,434
現金及び現金同等物の期末残高	7,997	5,914

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

● 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	14,640	11,373	14,686	△942	39,758	656	102	△1,463	△704	39,053
当期変動額										
剰余金の配当	—	—	△566	—	△566	—	—	—	—	△566
当期純利益	—	—	1,423	—	1,423	—	—	—	—	1,423
自己株式の取得	—	—	—	△255	△255	—	—	—	—	△255
自己株式の処分	—	△0	—	0	0	—	—	—	—	0
自己株式の消却	—	△665	—	665	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	580	187	549	1,317	1,317
当期変動額合計	—	△665	857	409	601	580	187	549	1,317	1,919
当期末残高	14,640	10,708	15,543	△532	40,359	1,237	290	△914	612	40,972

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

● 貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成25年3月31日現在	平成24年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	38,938	38,157
固定資産	26,545	27,242
有形固定資産	15,439	16,002
無形固定資産	246	240
投資その他の資産	10,859	10,999
資産合計	65,484	65,400
【負債の部】		
流動負債	20,367	20,694
固定負債	7,951	8,401
負債合計	28,319	29,095
【純資産の部】		
株主資本	35,692	35,578
評価・換算差額等	1,472	725
純資産合計	37,164	36,304
負債・純資産合計	65,484	65,400

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

● 損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
売上高	64,768	65,432
売上原価	53,283	54,254
売上総利益	11,484	11,177
販売費及び一般管理費	10,173	10,567
営業利益	1,311	610
営業外収益	1,112	1,022
営業外費用	288	311
経常利益	2,135	1,322
特別利益	14	36
特別損失	458	1,052
税引前当期純利益	1,690	306
法人税、住民税及び事業税	160	166
法人税等調整額	594	417
当期純利益又は当期純損失(△)	935	△277

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

● 株主資本等変動計算書 当期 (自平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				評価・換算差額等				純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	14,640	11,373	10,506	△942	35,578	622	102	725	36,304
当期変動額									
剰余金の配当	—	—	△566	—	△566	—	—	—	△566
当期純利益	—	—	935	—	935	—	—	—	935
自己株式の取得	—	—	—	△255	△255	—	—	—	△255
自己株式の処分	—	△0	—	0	0	—	—	—	0
自己株式の消却	—	△665	—	665	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	560	187	747	747
当期変動額合計	—	△665	368	409	113	560	187	747	860
当期末残高	14,640	10,708	10,875	△532	35,692	1,182	290	1,472	37,164

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

会社概要 / 株式の状況

● 会社概要 (平成25年3月31日現在)

設立	昭和22年5月
資本金	14,640,795,671円
従業員数	1,353名
本社	〒160-8885 東京都新宿区大京町22番地の5
関西支社	〒550-0005 大阪市西区西本町一丁目14番15号
営業所	北海道営業所 / 九州営業所

工場	足利第一工場 / 足利第二工場 滋賀第一工場 / 滋賀第二工場 美唄工場 / 九州工場
主な連結対象子会社	ACHILLES USA, INC. 阿基里斯 (上海) 国際貿易有限公司 アキレス東日本販売(株) アキレスコアテック(株) 大阪アキレスエアロン(株) その他24社

● 役員 (平成25年6月27日現在)

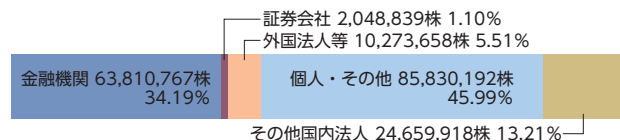
代表取締役社長	伊藤 守	
代表取締役専務取締役	村田 恒一	(製造部門管轄)
常務取締役	小林 英明	(営業部門統轄)
常務取締役	小林 憲一	(管理部門統轄兼CSR担当)
取締役	久保 仁	(シューズ部門担当)
取締役	池田 威治	(研究開発本部長兼デザインセンター担当兼知的財産部長)
取締役	美濃 眞	(プラスチック部門担当兼化成事業部長)
取締役	真鍋 紀久夫	(品質保証本部長兼生産革新担当兼カスタマーセンター長)
取締役	藤澤 稔	(経理本部長兼経営企画本部長)
取締役	日景 一郎	(産業資材部門担当兼熟資材事業部長)
常勤監査役	戸ヶ崎 基博	
常勤監査役	殿岡 一男	
監査役	近野 博	
監査役	須藤 昌子	

注記 監査役近野博氏及び須藤昌子氏の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

● 株式の総数等 (平成25年3月31日現在)

発行可能株式総数	700,000,000株
発行済株式の総数	190,627,147株
株主数	18,688名

● 株式分布状況 (平成25年3月31日現在)



注記 上記のほか、当社保有の自己株式4,003千株があります。

● 執行役員 (平成25年6月27日現在)

執行役員	押田 武彦	(車輻資材事業部長)
執行役員	藤田 議一	(関西支社長)
執行役員	荒木 謙一郎	(人事総務本部長兼コンプライアンス本部長兼法務文書部長)
執行役員	奥村 治平	(滋賀地区製造本部長兼滋賀総務部長)
執行役員	柏瀬 功次	(建築事業部長兼プラスチックデザインセンター長)
執行役員	山本 勝治	(ウレタン事業部長)
執行役員	永島 照明	(シューズ事業部長兼シューズ営業本部長)
執行役員	小林 一俊	(製造管理本部長兼安全環境担当兼労務担当)

● 大株主 (平成25年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社みずほ銀行	9,259	4.96
東京アキレス協和会	6,462	3.46
朝日生命保険相互会社	6,330	3.39
三井住友海上火災保険株式会社	5,640	3.02
足利アキレス協和会	5,304	2.84
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,403	2.35
みずほ信託銀行株式会社	4,318	2.31
大阪アキレス協和会	4,099	2.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,451	1.84
株式会社足利銀行	3,436	1.84

注記 上記のほか、当社保有の自己株式4,003千株があり、持株比率は自己株式を除いて算出してあります。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 剰余金の配当基準日 3月31日
 中間配当を実施するときは9月30日
 定時株主総会 6月中
 単元株式数 1,000株
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。 みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

公告方法 電子公告 (<http://www.achilles.jp>)
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株主優待のご案内

お問い合わせは、当社「株主優待係」まで
 (電話03-3225-8174)

高機能スーパー Cushion「SORBO」搭載の歩きやすく、疲れにくいウォーキングシューズ「ACHILLES SORBO(アキレス・ソルボ)」と、医療の現場から生まれた衝撃吸収素材「SORBO」の特性をいかしたインソールなどを、1,000株以上ご所有の株主の皆様へ、ご優待価格で購入していただけます。

ACHILLES SORBO



あなたの身近にいつも…

Achilles アキレス株式会社

本社：〒160-8885 東京都新宿区大塚町22番地の5 TEL:03-3225-2170 ホームページ <http://www.achilles.jp>

UD
FONT

ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C013080

VEGETABLE
OIL INK